

Step Up



福井市足羽第一中学校
第3学年 学年だより
令和7年12月22日(金)

In the spring become the rose

第3学年主任 白崎 繁男

最近、どうしても受験や卒業までの道のりばかり考えてしまう自分がいます。私は8月17日から毎日欠かさずランニングをしています。走っている時には音楽を聴いて気を紛らわせていますが、その間もふと考えてしまいます。「卒業まであと少し」と言いながら、みなさんが合格を勝ち取るまで「道はまだまだ遠いなあ」と感じるのは、そこまでの道のりが険しいからでしょう。

受験に対して「辛いなあ」「乗り越えられるかなあ」というネガティブな感情をもつ人も多いのではないかでしょうか。進路が実現するかどうかは、今後の努力によって左右されます。いわゆる「最後の追い込み」です。この苦しい時期をみんなで乗り越えて、喜びの涙を流してもらいたい！

私は辛く苦しい時、よく聞く歌があります。中学生の時、英語の授業で聞いた「The rose」という歌です。中学生の時の記憶なんてほとんどないのに、不思議なことに、この歌のことははつきりと記憶しています。現実の厳しさや苦しさに心が折れそうになった時、心の支えになり、未来への希望の光を感じることさえできる歌詞だと思います。是非、聞いてください。

The rose / Bette Midler

Some say love is a river

(制作上の都合により、掲載しておりません)

受験生にとって、この冬は一層厳しいものになります。それは植物にとっても同じです。目には見えませんが、冬の間、木は根を伸ばしています。雪の下では、土の中で種が春を待ち望んで眠っています。それは全て春に美しい花を咲かせるためです。しっかりと準備をしながら、厳しい冬を乗り越えるのです。このようにして、厳しい冬を乗り越えることで強くたくましく成長し、みんなが感動するような美しい花を咲かせるのです。

みなさんは「種」です。厳しく辛い冬かもしれません、強くたくましく乗り越えてください。暖かな春がみなさんを待っています。さて、みなさんにとての「花」とは何でしょう。一度考えてみてください。

私はこう思います。みなさんにとての花とは「進路を実現し、笑顔で次のステージに進むこと」だと。

1月の学習

【「何とかなる。」それは、ちゃんとやることをやっている人のセリフ】
ミイ(楽しいムーミン一家より)

「何とかなるよ」と誰かに言われると、少し気持ちが軽くなることがあります。でも一方で「本当に大丈夫かな。」「このままで平気かな。」と不安になることもありますよね。

「何とかなる」という言葉は魔法ではありません。目をそらしたまま、何もせずにいるだけでは状況は変わらない。むしろ、「やるべきことをちゃんとやっている人」だからこそ、安心して言える言葉なのだと、ミイは教えてくれています。「もう無理」「きっとできない」と思うほど、心のどこかで努力をしていない自分に気づいていたりします。しかし、勉強の場合は毎日継続することで、「やっているから、きっと何とかなる」と、その実感が自信につながっていきます。何もしなくて成功してしまうことよりも、とことん自分を高めて成功をつかみ取ることが何事にも代えがたい自信になります。

今日からの過ごし方が、自分の人生を左右することにつながっていくと考えてみると、やらないわけにはいきませんよね。新年明けたとき、【何とかなる】と自信をもって入試に向かえるといいですね。

○第7回確認テスト 1/8(木)、9(金) ⇒ 志望校に向けて、最終チェック

1月の生活について

もう少しで2026年を迎えますね。年が明けると、いよいよ受験が次々とやってきます。自分の定めた目標の実現に向けて進むときです。これまでの努力の成果を発揮して、万全の状態で受験を迎えることができるよう、改めて毎日の学校生活を振り返りましょう。

今月の生活目標

【進路や将来を見据えた新たな目標に向けて努力しよう】

① 新年の目標を立てよう

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、学習や生活において、自分の目標はすでに立てていますよね？是非「何月のこの週に〇〇を勉強する」「高校生になったら〇〇に挑戦する」など具体的な目標を立てましょう。そして、それを実現するために必要なことを、毎日1つでも、短時間でもいいので実践していきましょう。必ず1年後に「がんばってよかった」と思えます。

② 「けじめ」ある行動を心がけよう

受験を目前に控え、自分の言動が「大人」に近づいているか考えてみましょう。授業中の話す態度、聞く態度は休み時間のものと区別できていますか？また、目上の方に対して適切な言葉づかいができるでしようか？これらのことは、社会に出てからも必要な力です。幼稚な言動を改め、自分で「けじめ」をつけた言動ができるようになります。

③ 健康管理をしっかりとしよう

冬はインフルエンザや胃腸炎など、感染性の病気が流行しやすい時期です。新型コロナウイルス感染症もなくなったわけではありません。病気に負けない体を作るために、運動・栄養・休養（睡眠）の三本柱を中心に、生活リズムを整えましょう。

④ 交通安全に気をつけよう

気温が下がり、路面が凍結したり、雪が積もったりすると、登下校の道路の条件が悪くなります。「車は止まるだろう」と考えずに、念には念を入れて安全面には留意していきましょう。特に雪の日は登校時刻が遅くなりがちです。天候を考慮して、時間に余裕をもって登校しましょう。安全第一です！

＜冬休みの生活について＞

① 健康に気をつける

年末年始はつい夜更かしをしたり、食べ過ぎたりして生活リズムを乱しがちになります。体調を崩さないよう、気をつけて生活をしましょう。

② SNSトラブルに注意

長期休業中は自由な時間も多く、SNSトラブルが起こりやすい時期です。スマートルールや家庭でのルールを守りましょう。また、保護者の方はお子さまの利用状況を把握されていますか？危険な使い方をしていないか、長時間使用していないかなどチェックし、管理をよろしくお願いします。

③ 金銭トラブルに注意

新年、お年玉をもらう子どもが多額のお金を持っていることは誰もが容易に想像できます。不要な外出をし、量販店などをふらついてトラブルにあうことのないよう気をつけましょう。

人権作文の授業を受けて

1 組	・言葉は誰かを守ったり、自分の気持ちを伝えたりできる便利なものだけど、誰かを簡単に傷つける事ができてしまうという、少し難しいものだと思います。言葉の重さは、受け取る人によって違うし、軽い気持ちで発していた無責任な言葉は、取り消すことができません。だから、不満や怒りを感じっていても、一つの言葉を発する前に自分でしっかり考るべきだと思います。一度、自分を俯瞰してみることは大切だと感じました。言葉の重さをもう一度考え直したいです。
2 組	・軽い気持ちで言った言葉が悪口へと簡単に発展してしまうことと、自分が言われていたらどう思うかという想像力を常にもちたいです。正しいことを言うことを恐れるような環境はよくないので、悪口に共感してしまうのではなく、意思をしっかりとつべきだと思います。過去の行動を悔やんでもその過去は消えることはないので、後悔しないためにも相手の気持ちをよく考えて発言したいです。 
3 組	・いつも通り普通の何気ない話から、「悪口」へとエスカレートし、結果「いじめ」に発展してしまうことがあると知りました。確かに、「つい」口にしてしまったことが「空気を読む」に縛られて、大きな「毒」になってしまふことはよくあると共感しました。友人を傷つけてしまったら、元に戻るには沢山の時間がかかるし、戻れないかもしれません。それを踏まえて日常の何気ない会話でも、仲のよい関係を終わらすことのないよう、しっかり頭に留めておく必要があると思いました。
4 組	・正直、誰だって人に不満をもつことはあると思います。どんなに優しくて、いい人だとしても不満をもたないなんてことはないでしょう。しかし、その優しい人はその不満を誰にも見せない、バレないように自分の心の中だけにしまっておく。そうやって、日々努力しています。それは、誰にでもできることじゃない。本当に尊敬します。でも、私たちが願う社会は、そんな優しい人であふれている社会です。そんな社会への第一歩として、発言をするときは、一度グッとこらえて本当に言って良いものか、軽率な発言でないかを考えてから言うようにしたいと思いました。 

～保護者の方の声を紹介します～

学年だよりの感想、学校への質問、要望事項などがありましたら、お書きください。

第3学年の学年便り、次号に掲載させていただきます。



今月のスクールカウンセラー来校日

■1月13(火) ■1月20(火) ■1月27(火)